

オンコビン注射用 1mg

【この薬は？】

販売名	オンコビン注射用 1mg Oncovin for Inj. 1mg
一般名	ビンクリスチン硫酸塩 Vincristine Sulfate
含有量 (1バイアル中)	1mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗悪性腫瘍剤で、ビンカルカロイドというグループに属する注射薬です。
- ・この薬は、がん細胞の分裂を中止させる作用により、がん細胞の増殖を抑制します。
- ・次の病気の人に処方されます。

白血病（急性白血病、慢性白血病の急性転化時を含む）、悪性リンパ腫（細網肉腫、リンパ肉腫、ホジキン病）、小児腫瘍（神経芽腫、ウィルムス腫瘍、横紋筋肉腫、睾丸胎児性癌、血管肉腫等）、多発性骨髄腫、悪性星細胞腫、乏突起膠腫成分を有する神経膠腫、褐色細胞腫

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○患者さんや家族の方は、この薬の必要性や注意すべき点などについて十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意をした場合に使用が開始されます。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にオンコビンに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・脱髄性（だっずいせい）シャルコー・マリー・トゥース病*の人
*手足の感覚と筋力が徐々に低下していく遺伝性の進行性の病気

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・肝臓に障害のある人
- ・腎臓に障害のある人
- ・骨髄抑制（貧血、白血球減少、血小板減少など）のある人
- ・感染症にかかっている人
- ・神経や筋肉の病気にかかったことがある人
- ・虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞など）にかかっている人
- ・水痘（みずぼうそう）にかかっている人
- ・高齢の人

○妊娠または妊娠している可能性がある人、授乳している人は医師に相談してください。

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射薬です。

●使用量および回数

通常、成人または小児の使用量は、あなたの体重や体表面積（身長と体重から計算）や症状の程度などにより、医師が決めます。

1	白血病（急性白血病、慢性白血病の急性転化時を含む）、悪性リンパ腫（細網肉腫、リンパ肉腫、ホジキン病）及び小児腫瘍（神経芽腫、ウィルムス腫瘍、横紋筋肉腫、睾丸胎児性癌、血管肉腫等）
2	多発性骨髄腫
3	悪性星細胞腫、乏突起膠腫成分を有する神経膠腫
4	褐色細胞腫

縦の矢印で示す日に使用し、その後休薬します。副作用の程度などにより、1回の使用量や使用間隔が変更されることがあります。

※1回の使用量は2mgを超えません。

1.	<p>(1) <小児> 0.05~0.1mg/kg (体重) を週1回静脈注射します。</p> <p>(2) <成人> 0.02~0.05mg/kg (体重) を週1回静脈注射します。</p>	<p>(繰り返す)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="text-align: center;">1クール</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">1週目</td></tr> </table> <p style="text-align: center;">↑ 1 日 目</p>	1クール	1週目														
1クール																		
1週目																		
2.	<p>ドキシソルビシン塩酸塩、デキサメタゾンリン酸エステルナトリウムと併用します。</p> <p>1日量0.4mgを1日間かけて持続静注*します。</p> <p>これを4日間連続で行います。</p>	<p>(繰り返す)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td colspan="4" style="text-align: center;">1クール</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">1週目</td> <td style="text-align: center;">2週目</td> <td style="text-align: center;">3週目</td> <td style="text-align: center;">(4週目)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↑ ↑ ↑ ↑ 1 2 3 4 日 日 日 日 目 目 目 目</p> <p style="text-align: center;">← 17 (~24) 日間 →</p> <p style="text-align: center;">休薬</p>	1クール				1週目	2週目	3週目	(4週目)								
1クール																		
1週目	2週目	3週目	(4週目)															
3.	<p>他の抗悪性腫瘍剤と併用します。</p> <p>1. 4mg/m² (体表面積) を、2回静脈注射します。</p> <p>1回目の投与の3週間後に、2回目の投与を行い、6~8週を1クールとし、投与を繰り返します。</p>	<p>(繰り返す)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td colspan="8" style="text-align: center;">1クール (6~8週)</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">1週目</td> <td style="text-align: center;">2週目</td> <td style="text-align: center;">3週目</td> <td style="text-align: center;">4週目</td> <td style="text-align: center;">5週目</td> <td style="text-align: center;">6週目</td> <td style="text-align: center;">(7週目)</td> <td style="text-align: center;">(8週目)</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↑ 8 日 目 (1 回 目)</p> <p style="text-align: center;">↑ 2 9 日 目 (2 回 目)</p>	1クール (6~8週)								1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	6週目	(7週目)	(8週目)
1クール (6~8週)																		
1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	6週目	(7週目)	(8週目)											
4.	<p>シクロホスファミド水和物、ダカルバジンと併用します。</p> <p>成人には、1日1回1.4mg/m² (体表面積) を静脈注射します。</p>	<p>(繰り返す)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td colspan="3" style="text-align: center;">1クール</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">1週目</td> <td style="text-align: center;">2週目</td> <td style="text-align: center;">3週目</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↑ 1 日 目</p> <p style="text-align: center;">← 少なくとも20日間 →</p> <p style="text-align: center;">休薬</p>	1クール			1週目	2週目	3週目										
1クール																		
1週目	2週目	3週目																

*持続静注：小型の特殊なポンプを使って、静脈内に少しずつ薬を送りこむ方法。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・重い末梢神経障害や筋肉の障害(手足のしびれ、感覚のまひ、運動のまひなど)が起こることがあります。使用回数に伴って、症状が強まる傾向があります。これらの症状があらわれた場合にはすぐに医師に連絡してください。
そのため、定期的に臨床検査(末梢神経伝達速度検査、握力測定など)が行われます。
- ・骨髄抑制(からだのだるい、発熱、出血が止まりにくいなど)により重い感染症や出血などの重篤な副作用があらわれることがあります。ときには致命的な経過をたどることがあるので、これらの症状があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。
そのため、頻回に臨床検査(血液検査、肝機能・腎機能検査など)が行われます。
- ・治療時に腫瘍が崩壊する腫瘍崩壊症候群(おなかが痛い、血尿など)があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合にはただちに医師に連絡してください。
- ・他の抗癌剤と併用した治療を受けた場合、精子ができなくなったり、月経が停止することがあります。特に小児の場合や今後子供を望まれる場合は、医師に相談してください。
- ・授乳中の人は授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
末梢神経障害 (神経麻痺、筋麻痺、痙攣等) まっしょうしんけいしょうがい (しんけいまひ、きんまひ、けいれんなど)	運動のまひ、感覚のまひ、手足のしびれ、手足の痛み、けいれん
骨髄抑制 こつずいよくせい	からだのだるい、発熱、鼻血、歯ぐきの出血、息切れ、あおあざができる、出血が止まりにくい、出血しやすい
錯乱、昏睡 さくらん、こんすい	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない、意識がなくなる
イレウス いれうす	嘔吐、むかむかする、激しい腹痛、排便・排ガスの停止
消化管出血、消化管穿孔 しょうかかんしゅつけつ、 しょうかかんせんこう	血を吐く、吐き気、嘔吐、激しい腹痛、血が混ざった便、黒色便
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (SIADH) こうりにょうほるもんふてきごうぶんびつしょうこうぐん(えすあいえーでいーえいち)	けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐、食欲不振

アナフィラキシー あなふいらきしー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下
心筋虚血 しんきんきょけつ	狭心痛、胸がしめつけられる感じ
脳梗塞 のうこうそく	片側のまひ、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、しゃべりにくい、吐き気、嘔吐、手足のまひ、しびれ、半身不随、片側のまひ、意識を失って深く眠りこむ、判断力の低下
難聴 なんちょう	耳が聞こえにくい、耳鳴り、声や音がきこえない
呼吸困難および気管支痙攣 こきゅうこんなんおよびきかんしけいれん	息苦しい、息切れ、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	発熱、から咳、息苦しい、息切れ
肝機能障害、黄疸 かんきのうしょうがい、おうだん	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、尿が褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	運動のまひ、感覚のまひ、片側のまひ、からだがだるい、ふらつき、発熱、けいれん
頭部	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない、意識がなくなる、意識の低下、頭痛
顔面	鼻血、ほてり
眼	眼と口唇のまわりのはれ、白目が黄色くなる
耳	耳が聞こえにくい、耳鳴り、声や音がきこえない
口や喉	歯ぐきの出血、嘔吐、吐き気、血を吐く、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、しゃべりにくい、息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、から咳
胸部	息苦しい、息切れ、突然の息切れ、狭心痛、動悸、吐き気、むかむかする、胸がしめつけられる感じ
腹部	むかむかする、激しい腹痛、吐き気、食欲不振
手・足	手足のしびれ、手足の痛み、手足のまひ、しびれ、半身不随、片側のまひ

部位	自覚症状
皮膚	あおあざができる、じんましん、かゆみ、皮膚が黄色くなる
便	排便・排ガスの停止、血が混ざった便、黒色便
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	出血が止まりにくい、出血しやすい、判断力の低下、意識を失って深く眠りこむ、判断力の低下

【この薬の形は？】

販売名	オンコビン注射用 1mg
性状	白色～微黄白色の凍結乾燥製剤 褐色バイアル
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ビンクリスチン硫酸塩
添加物	乳糖水和物

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社：日本化薬株式会社 (<http://www.nipponkayaku.co.jp/>)
医薬消費者相談窓口
電話：0120-656-216
受付時間：9時～18時
(月～金、ただし祝日、当社の休業日を除く)